

第1学年〇組 学級活動（2）学習指導案

指導者 福岡市立〇〇小学校 教諭 〇〇 〇〇

1 題材名 にこにこだいさくせん ～きもちのよいあいさつ～（基本的な生活習慣の形成）

2 題材設定までの経過

- 本学級は、年度当初に、クラスの目標を「みんなが にこにこの げんきなくらす」と設定し、「みんながにこにこになれるように」と、いろいろな場面でクラスの目標を意識するようになってきた。「にこにこ」には、「楽しい」「明るい」「なかよし」などの担任と子どもたちの学級への願いも込められている。大変元気な子どもが多く、パワフルで、好奇心旺盛にいろいろなことに取り組もうとする姿が見られる。

あいさつに関しては、1学期当初から、積極的にあいさつをする姿が見られた。学校全体で子どもたちに呼びかけ、特に月曜日はあいさつの日としているので、先生やほかの学年の子どもたちがあいさつをしている姿に刺激を受け、さらに元気よくあいさつができるようになってきている。しかし、個人的に見てみると、クラスの中でもあいさつをしっかりとできる子どもと、そうでない子どもがおり、全員があいさつを上手にできているというわけではない。また、あいさつはしているが、とりあえずしているだけで、相手のことを考えてしている子どもはほとんどいない。担任や、知っている先生にはするが、友だちや、知らない先生にはしないという子どもも多い。

- 本題材は、今までの自分自身のあいさつをふりかえり、相手意識をもって、あいさつの仕方をさらによくすることをねらいとしている。自分たちは気持ちのよいあいさつができていると思っ

ていても、まだまだ不十分であるということに気づかせ、これからいろいろな場面でよりよいあいさつができるようにする。学習指導要領でも、低学年において基本的な生活習慣にかかわることが重点項目としてあげられており、学級活動の第1、第2学年の内容である「仲良く助け合い学級生活を楽しくする」や、学習指導要領第3章道徳の第2に示す「4 主として集団や社会とのかかわりに関すること」と深いかかわりがある。

また、新しいふくおかの教育計画でも、「福岡スタンダード」のひとつとしてあいさつが挙げられ、「あいさつ」は、開かれた心や良好な人間関係を築き、他者とのコミュニケーションを図る第1歩であり、「気持ちのよいあいさつ」ができることは、社会的に求められていることとされている。学校にも慣れ、だんだん中だるみしてくるこの時期に、基本的な生活習慣を見直すことは、他の人との望ましい人間関係を築く上でも大変意義深いことであると考えられる。

- 本題材の指導にあたっては、まず、事前の活動で道徳の時間において、あいさつの大切さやよさについて学習を行う。次に、1年2組の子どもたちのあいさつの様子について、子どもたち自身と先生たちにアンケートをとる。日頃クラスの子

どもたちがあいさつをしている様子のビデオと、6年生が「気持ちのよくなるあいさつ」をしているビデオを用意しておく。

本時の活動では、まず、導入の段階で道徳の学習を想起しながら、あいさつをするとどんな気持ちになるか、また、されるとどんな気持ちになるかなどのあいさつの大切さやよさについて気付けさせる。そして、自分たちが答えたあいさつのアンケートの結果の簡単なグラフを見せ、あいさつをがんばっている姿を賞賛する。その後、先生たちの答えてもらったあいさつについてのアンケート結果を見せ、自分たちのアンケートの結果とのずれに気付かせ、問題の意識化を図る。

次に、展開の段階では、自分たちのあいさつの様子のビデオと、6年生のあいさつの様子のビデオを見比べて、どうすればあいての気持ちのよいあいさつになるか話し合う。その際、隣の席同士で話し合い、ロールプレイを取り入れながら分かりやすく発表させるようにする。

最後に、終末の段階では、話し合ったことを元に、今後の自分のあいさつの仕方を自己決定させる。自己決定後に、クラスの中で、実際にあいさつをする活動を取り入れ、自己決定したことを実践し、気持ちのよいあいさつができた喜びを味わわせて今後の意欲を高めていく。

事後の学習では、自分の決めためあてについての振り返りをする。はじめの1週間は、自己決定カードに記入をしながら意識をしていく。カードだけではなく、6年生や先生たち、また学級通信等で保護者の方にもお知らせし、賞賛してもらうようにすることで、意欲を高めていく。

3 目標

- 相手が気持ちよくなるあいさつの方法を考えようとしている。 (関心・意欲・態度)
- 話し合ったことから、自分に合ったより気持ちのよいあいさつの方法を自己決定することができる。 (思考・判断)
- 自分の考えを友だちに伝えたり、自己決定したことを計画・実現したりすることができる。 (技能・表現)
- 自己決定したあいさつの仕方を理解し、実践することができる。 (知識・理解)

4 指導計画 (全1時間+道徳の時間1時間+朝タイムなど)

展開	活動と内容	指導上の留意点	日時
事前	※ 道徳の時間にあいさつについての指導を行う。「いなりやまのこんたろう」 ○ あいさつの大切さや良さを知ること 1 あいさつについてのアンケート調査を行う。 ○ 今までの自分の姿を振り返ること	○ あいさつをすると、相手も自分も気持ちがいいと感じさせる。 ○ 誰にでも、自分からすることを確認する。 ○ 学習したことを、掲示物として残しておく。 ○ 1週間の学校生活や自分たちの生活を振り返り、アンケートに答えさせるようにする。 ○ 先生にも1年2組子どもたちのあいさつの様子について、アンケートをとる。	10月8日 3時間目 10月9日 朝の会
本時	1 もっとあいさつが上手になる方法を考え、自分ががんばることを自己決定する。	○ アンケートの結果や6年生によるあいさつのビデオを活用し、課題意識をもたせる。	10月19日 5時間目
事後	1 自己決定したことを1週間実践する。 2 帰りの会で、あいさつについて振り返りをする。 ○ 実行したことを他者評価すること 3 活動の振り返りをする。 ○ 実行できたことを賞賛しあうこと	○ 自己決定したことと、1週間のあいさつの感想をカードに記入する。 ○ 帰りの会で、あいさつをがんばっていた人を発表させる。 ○ 学級通信で、保護者にもがんばっている様子を伝え、家庭でも賞賛してもらうようにする。 ○ カードとがんばったことを賞賛し合い、意欲を高める。	10月20日～

5 本時の活動

本時 平成21年10月19日(月) 第5校時 於 1年〇組教室

6 本時の目標

- 自分の考えたよりよいあいさつの仕方を発表したり、友達の考えを聞いたりすることができる。
- 話し合ったことをもとに、より気持ちのよいあいさつの仕方を自己決定することができる。

7 準備

アンケートの結果のグラフ(先生たち・1年生)、あいさつの様子のビデオ、6年生のあいさつのビデオ、自己決定カード

8 本時の活動計画

活動と内容	指導上の留意点
<p>1 自分たちのアンケートの結果を知り、自分たちのあいさつについて振り返る。 ○ 自分たちのあいさつを振り返ること</p> <p>2 あいさつの課題を知り、本時学習のめあてをつかむ。 ○ じぶんたちのあいさつについての課題を知ること (1) 先生たちのアンケート結果を知る。 (2) 自分たちのアンケート結果と見比べて課題を知り、めあてをつかむ。</p>	<p>○ あいさつをがんばっていることをほめる。 ○ アンケート結果を、簡単なグラフにして提示する。</p> <p>○ 自分たちのアンケートの結果と、先生たちのアンケートの結果とのずれを感じさせる。 ○ 道徳の時間の掲示物を振り返り、「自分だけでなく相手も気持ちいい」という相手意識をもたせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて</div> あいてが きもちよくなるような あいさつのほうほうを かんがえよう。	
<p>3 自分たちのビデオと、6年生のビデオを観くらべて、どうしたら相手が気持ちのよいあいさつになるか話し合う。 ○ 相手が気持ちよくなるあいさつについて考えること (1) 6年生からのビデオと、自分たちのあいさつのビデオを見比べる。 (2) 相手が気持ちよくなるあいさつの仕方を話し合う。 (例) めをみる げんきよく あたまをさげて たちどまって なまえをよんで など</p> <p>4 話し合ったことをもとに、自分がんばることを自己決定する。 ○ 自分のあいさつを振り返り、自分がんばることを自己決定すること</p> <p>5 自己決定したことをもとに、クラスみんなや先生たちにあいさつを実際にしてみ、今後の意欲をもつ。 ○ 自己決定したことを実践する意欲をもつこと (1) 自己決定したことを意識して、あいさつをクラスの中で実際にやってみる。 (2) 教師の話聞く。</p>	<p>○ 6年生が実際にあいさつをしている姿を撮影しておく。 ○ 1年生のビデオで、できていることをほめる。 ○ 6年生のビデオと比べさせ、自分たちのあいさつの課題をつかませる。</p> <p>○ 隣の席同士で話し合うときに、机間指導しながら、実際にさせてみる。 ○ 話し合ったことを発表させ、黒板にまとめる。</p> <p>○ 黒板に書いたことをもとに、自己決定カードに書かせる。 ○ 何人かの児童に発表させ、実際にあいさつをさせてみる。 ○ 自己決定したことをしっかり意識して実践できている児童を見つけて、賞賛する。</p> <p>○ 6年生も応援していることを伝え、意欲を高める。 ○ 1週間実践していくことを伝える。</p>

9 評価

- 相手が気持ちよくなるあいさつの方法を考えようとしていたか。 (関心・意欲・態度)
- 話し合ったことから、自分に合ったより気持ちのよいあいさつの方法を自己決定することができたか。 (思考・判断)
- 自分の考えを友だちに伝えたり、自己決定したことを計画・実現したりすることができたか。 (技能・表現)
- 自己決定したあいさつの仕方を理解し、実践することができたか。 (知識・理解)